

サクラマス 海面養殖開始

延岡・土々呂湾

12/19 新たなブランド魚へ ヤマメを4カ月かけ巨大化

海面養殖を前に、同町
鞍岡のやまめの里で育つ

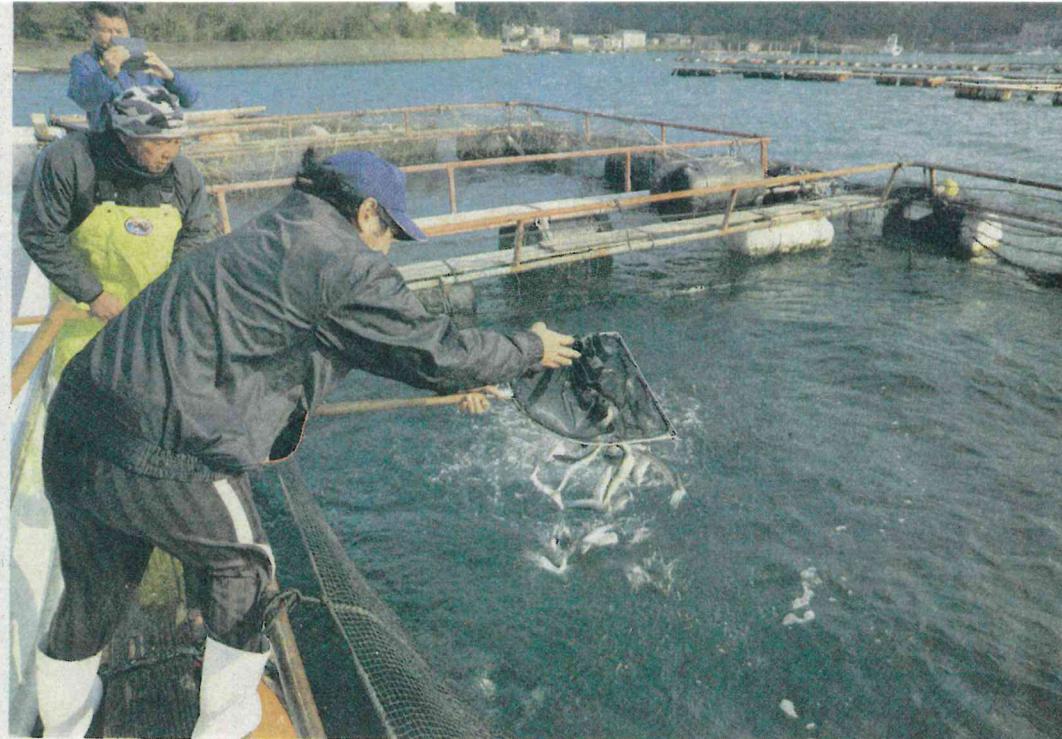
販路の可能性についても
探っていきたい」と話した。

新たなブランド魚を目指している「みやざき
サクラマス」の今シーズンの海面養殖が、17日
から始まった。五ヶ瀬町鞍岡の養殖池で育った
ヤマメ約1200匹を延岡市の土々呂港近くの
いけすに移し、約4カ月かけて大きさ前後に巨大
化させる。来年3~4月の水揚げを予定してい
る。

海面養殖に取り組むの
は宮崎大学農学部の内田
勝久教授(51)。みやざき
サクラマスは、生涯を川
で過ごす五ヶ瀬町のヤマ
メを一定期間海で育てて
通常の10倍の体重まで大
きくしたもので、内田教
授が平成25年から研究を
続けている。

17日はヤマメを同セン
ターの水槽から漁船で港
内のいけすへと運び、網
で移し替えた。来週には
北浦町でも1300匹の
海面養殖を予定してい
る。

内田教授は「地元の人
に食べてもらうこともも
ちろんだが加工品など



ヤマメをいけすに放つ漁業者(17日、延岡市土々呂港近く)

2018.12.19



延岡と東京について学んだ1時限目「文系」の授業



還暦を迎えた12回生

東京都内をはじめとする関東圏在住の県立延岡西高校卒業生が集う、関東遊会(坂元健会長)が1月10日、東京都内のアリスアカデミーで開かれ約230人が参加して思い出を語り合った。

今年は昭和58年卒業の18回生が実行委員会(黒木義登代表)を組織して準備。高校時代を思い出してほしいと

全校朝礼から補習まで 12/19 学校の一日に見立てて同窓会

延岡西高校同窓会

関東星遊会に230人



「体育の時間」はもちろんはんぱ踊り



「休み時間」(?)にも笑顔で写真撮影

いう気持ちから「思い出を語ろう」をテーマに、学校の一日をなぞる形でプログラムを作成した。

時間割(式次第)は、金校朝礼(開会式)に始まり、校長(坂元会長)あいさつ、教育実習生(来賓)紹介、教頭先生の話(野中玄)、同窓会会長の乾杯、

文系の授業(延岡や東京について学ぶ)理系の授業(当日の参加費用の合計)でクイズや体育(はんぱ踊り)と懇かしきあふれる二つの内容。

坂元会長はふるさと延岡を大切にしようと訴え、あると納税への協力を呼び掛けた。

はるばる延岡から参加



「学校長」としてあいさつする坂元会長



歓談しながら盛り上がった一時限目



今回の幹事を務めた18回生



全

音楽の時